

令和 2 年 2 月 21 日時点

(1) 事務事業の概要		
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・給水管の取出しは、引込み済であるが、宅内工事が行われていない世帯に普及促進のはがきを送付する。 ・普及促進のはがきの送付とは別に、戸別訪問を行って利用促進を図る。 ※対象件数が多いので、年度ごとに訪問地区を決めて長期計画で普及促進を図っていく。 ・宅内漏水の注意喚起を広報等で行う。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
従来から普及促進のはがき送付は行っていたが、更なる加入者の増加を図るため、戸別訪問を平成26年度から行っている。	昔ながらに地下水等を利用している方の普及は難しい。	水道利用については消極的意見が多く、水道料金・工事代金がかかる等の意見が多い。

		単位	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)
事業費	費目内訳	1. 備消耗品費	千円	4	4	4	4
		2. 通信運搬費	千円	46	45	52	50
			千円				
			千円				
	事業費計 (A)		千円	50	49	56	54
財源		1. 国庫支出金	千円				
		2. 都道府県支出金	千円				
		3. 地方債	千円				
		4. その他	千円				
		5. 一般財源	千円	50	49	56	54

従事職員数
常時
3
人
最大
4
人
×
4
日
=
延べ
16
人

手段	① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動)			ア	普及促進はがき送付件数	件	885	866	842	803	800
	普及促進のはがきを送付 旭地区(新町、川口、泉川、大塚原)に戸別訪問				イ	戸別訪問件数	件	87	130	98	99
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		⇒	④ 成果指標名		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
	対象 意図	市民		ア	普及率	%	85.9	86.4	87.1	87.6	87.9
		水道を利用する									
		対象 意図	宅内工事(給水管引込み済)が行われていない世帯		イ	普及促進はがきをきっかけとして宅内工事を実施した世帯の割合	%	1.2	1.2	1.1	1.4
宅内工事を実施する											

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度 評価結果	①			
	②	(2)		
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

年度	ア (%)	イ (%)
H27	85.0	0.0
H28	86.0	0.0
H29	87.0	0.0
H30	88.0	0.0
H31計画	88.0	0.0

評価内容	① 進捗状況		☐ 完了		☒ 順調		☐ 概ね順調		☐ 停滞		☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	比較 成果動向	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	27年度	28年度	29年度		30年度	31計画			
	【コメント】 (低下の場合、その理由)														
③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容		今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小		☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()						
		令和元年11月～令和2年1月頃	旭地区(井戸野、江ヶ崎)に戸別訪問を行い、普及促進を図る。		令和元年11月～令和2年1月頃	旭地区(井戸野、江ヶ崎)に戸別訪問を行い、普及促進を図る。									